

暮らし
科学研究所
ポラス

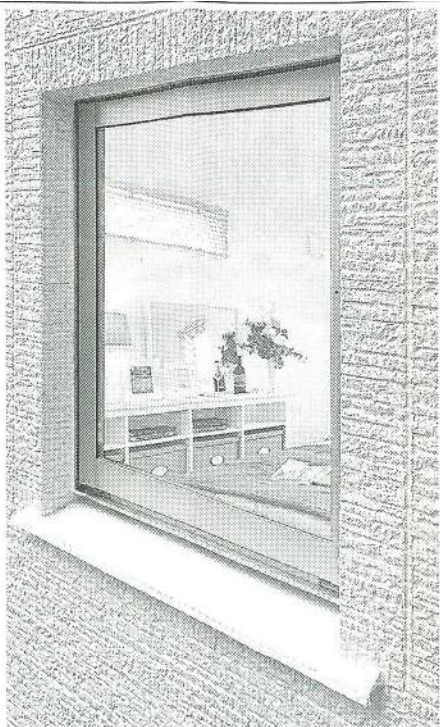
雨垂れ防ぐ「ホリマド」開発

来年完成の現場から導入へ

ポラスグループのポラス暮らし科学研究所(埼玉県越谷市、小見豊社長)は、外壁に陰影を演出し、雨垂れ汚れを防止するオリジナル商品『ホリマド』を開発した。まずはグループ内で展開していく考えで、来年完成予定の現場から導入していく計画だ。『ホリマド』は外壁面から60ミ程度窓をセットバックさせた商品であり、水切りによって雨垂れが原因の外壁汚れや経年劣化を防止することで、同グループとして推進している「美しい街並みを保つ」工夫をしている。グループでは最近のスタイル傾向として、シンプルモダン系がトレンドとなっており、そのため「ポラスらしい住宅」をさらに追求し、ファサードにアクセントがつけられる商品として開発に踏み切った。今後は施工、設計、技術開発などを一貫して行っているグループならではの強みを生かしながら、将来的には外販も視野に入れていく考えだ。

ファサードにアクセント付加

同社では、3年前に雨れが発生していくことが多くなっており、将来的なメンテナンスについて課題として挙げられた。また、同グループの住宅も配慮、外観上の経年劣化を防ぎながら、美しい街並みを保っていくことから今回の商品開発に結



『ホリマド』の施工イメージ

びつた。

同商品は、ビルのように窓を外壁面よりも掘り込むことで陰影をつけ、意匠性を高めたもので、雨垂れ汚れを防止しているのもポイントだ。

「デザイン的に見栄えのするファサードを演出しながら、機能性を付加させた商品にしている」(デザインG・小島明子主任)。

サッシの下部にはホリマド水切りを施工。水切りについては、箱物で現場に納品している。水切りのカラーは、サッシまたは外壁との親和性を重視した5色展開を予定しており、窓幅に応じた3サイズを用意している。

今回の開発に際して、同社では住宅の機能性を検証しており、断熱・気密性能については、熱損失などの不具合は確認されていない。また散水試験によってサッシからの雨漏りはもちろん雨仕舞にも不安のないような作り込みを行っている。

「今回の商品開発によって、グループ内におけるデザインスタイルのバ

リエーションが増える」(小島主任)とみており、今後は庇とのコーディネートなどの展開をしていく考えだ。

将来的には外販も

同商品は2017年から開発がスタート、今年7月にはグループ内の各事業部に対して展開を行っている。

「グループ会社ならではの設計・施工から一貫した体制で行っている強みが、今回のようなディテールを含めたトータルデザイン、細かい部分に焦点を当てた商品開発につながっている」(小島主任)という。

同商品は木造軸組工法と2×4工法に対応しており、まずはグループ内で先行導入して、将来的には外販も視野に入れている。